

箱根地域におけるオオハンゴンソウの生育状況調査と駆除活動

辻本 明*

Growth of *Rudbeckia laciniata* and
suppression activities in Hakone area

Akira TSUJIMOTO*

はじめに

箱根地域におけるオオハンゴンソウについては、「神奈川県自然環境保全センター報告第4号」において2005年、2006年に取り組んだ生育状況調査及び駆除活動について報告したところであるが、2007年についても継続して調査と駆除活動を行ってきた。

本稿では、2007年に行った生育状況調査と駆除活動等について引き続き報告するとともに、今後の取り組みについて提言する。

オオハンゴンソウについて

オオハンゴンソウは明治時代中期に北米から園芸植物として渡来したキク科の多年生草本である。路傍や荒地、湿原、河川敷などの肥沃で湿ったところで0.5m～3mの高さに成長し、7月～10月に黄色く目立つ花を咲かせる。旺盛な繁殖力から主に北日本で野生化し、全国に分布を広げており、各地の国立公園内や自然度の高い場所にも侵入している。各地で駆除活動が行われているが、本種の詳しい生理・生態についての研究はまだ少ない。在来の生態系に影響を及ぼす危険性が高いことなどから、2006年2月に外来生物法の「特定外来生物」に指定され、本種の移動や人為的繁殖に制限が加えられるようになった。

神奈川県内では箱根地域の他はほとんど見られず、箱根地域への侵入については1970年代に仙石原湿原で確認した記録があるが、それ以前については確認できていない。種の自然散布により、少しずつ生育範囲を広げ、今日に至っていると思われる。



写真1 オオハンゴンソウ(全体と花)

箱根地域の生育状況調査

2007年は4月から11月まで、分布調査を昨年に引き続き行った。調査は徒歩または車中からの目視により行い、開花期は別荘地内の路地や空地なども積極的に見てまわった。その結果、新たに14箇所を確認し、確認地は合計39箇所となった。ただし、確認地

* 神奈川県自然環境保全センター箱根出張所(〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根旧札場164)

数の増加は調査地域や調査頻度の増加によるものであり、分布域が拡大していることではない。分布調査については、開花期は目につきやすいものの、開花期以外は確認が困難のため、まだ未確認地点もあることが考えられる。

新規14箇所のうち、推定株数規模では、100株単位(1,000株未満)の場所が4箇所、10株単位以下(100株未満)の場所が10箇所であった。今後新たに生育地を確認したとしても、おそらく小規模な生育地であることが想定される。

これらの確認地の情報は、2006年に作成した「オオハングソウ確認地カルテ2006」を改良し、引き続き「オオハングソウ確認地カルテ2007」を作成し、将来的な群落の動向や駆除対策などに役立てる予定である。

2006年から2007年に確認した地点の一覧を、表1及び図1にまとめた。

箱根地域の防除実施計画の策定

オオハングソウは2006年2月に外来生物法による特定外来生物に指定されており、2006年は特別保護地区である仙石原湿原内の駆除においてのみ防除手続きを行った。

2007年については、防除目標や防除期間を明確にした上で駆除を行うことが望ましいことや、民有地の駆除も行うためには公的なお墨付きがあったほうが協力を得られやすいことなどから、箱根町全域の防除実施計画を策定する方向で調整をすすめた。

2007年3月、神奈川県自然環境保全センターと箱根町環境課が外来生物法に基づく防除の申請を行い、国、県、町により協力してオオハングソウの駆除をすすめていく方針で環境省箱根自然環境事務所、箱根町環境課と合意し、6月に防除実施計画書を作成した。防除実施計画書では、箱根町全域のオオハングソウについて「区域からの排除、または拡大の低減化」を目標とし、2010年3月末までの期間、調査・駆除・モニタリングを行うこととしている。

策定した防除実施計画書は、表2のとおりである。

オオハングソウの駆除活動

2007年の駆除については自然環境保全センター箱根出張所職員が業務の中で行ったケースと、神奈川県自然公園指導員や関係機関に呼びかけて、「オオハングソウ駆除隊」というボランティア活動として行ったケースがある。2007年に駆除したのは、22地点(延べ36地点)、駆除株数は約3万2千株となった。駆除した日時や場所、概要などについては表3にまとめた。

「オオハングソウ駆除隊」については、2007年度の年度初めに5月から9月までの駆除活動のスケジュールを立て、毎月第2、第4水曜日を定期的な「箱根オオハングソウ駆除隊」の活動日とし、関係者に呼びかけを行い、定期的に開催することとした。神奈川県自然公園指導員、環境省パークボランティアの方々をはじめ、箱根町環境課、東京神奈川森林管理署、環境省箱根自然環境事務所の応援をいただきながら、全部で7回、延べ103人の参加により、約3万株を駆除した。特に今年は2万株以上であると推定している駒ヶ岳山頂(A-2)を集中して3回行い、大きな成果があった。

オオハングソウ駆除隊の実施例として、7月25日に駒ヶ岳山頂で行った際の配布資料と結果報告書を参考例として図2にまとめた。



写真2 駒ヶ岳山頂での駆除作業

今後の取り組みの課題

箱根地域で本格的にオオハングソウの駆除活動を開始して2年目となり、関係機関との連携や外来生物の駆除活動の認知度もすすんできた。今後の取り

組みにあたっての課題を3点挙げておきたい。

おわりに

1 情報交換・情報発信の必要性

オオハンゴンソウ駆除については、全国各地で取り組みがなされているが、生理・生態的特性についてはまだ不明な点が多く、どこも手探りでやっている状況である。2007年1月、箱根出張所の主催で「オオハンゴンソウの情報交換会」を生命の星・地球博物館にて開催したが、このような場の設定により、駆除のノウハウや生理・生態学的な知見についての情報交換がすすめば、より効果的な駆除対策なども生み出されるかもしれない。また、インターネットによる情報発信についても実施していくことが望ましい。

2 経年変化の記録の重要性

湯坂路(A-1)については、2006年は約16,500株を駆除したが、2007年は3,700株と、駆除株数が約4分の1に減少した。また、仙石原湿原(B-1)でも2006年は約3,800株の駆除が2007年は5月に約500株駆除した後はほとんど目につかなくなっている。

根茎からの駆除は短期的な効果が高いことは明確だが、その後植生がどのように移り変わっていくかについて、それぞれの箇所の経年変化を取り続けていくことも重要になると思われる。次年度以降も確認地カルテに情報を蓄積し、経年変化を追っていききたい。

3 効果的な駆除ボランティアの実施

2007年のオオハンゴンソウ駆除隊では、大人数でA~Cクラスの生育地を駆除してきたが、今後は少人数でDクラスの小さな生育地を駆除していくことも必要になってくる。これらの場所の駆除には開花期に集中して駆除を行うことが効果的だが、開花した株の周辺には開花しない未成熟株があることも多く、生育地の根絶を目指すには未成熟株や幼体などを判別するノウハウや知識が重要になると思われる。

次年度以降の駆除ボランティアについては、未成熟株や幼体の判別をスキルアップする研修や、開花期に駆除活動を集中させるなど、根絶に向けたより効果的なボランティア活動を実施していくことが求められる。

筆者はこの夏、日光国立公園で毎年行われているオオハンゴンソウ駆除活動にボランティアとして参加してきた。日光国立公園では、1976年から30年以上駆除活動が行われ、近年は毎年8月に大きなイベントとして取り組まれている。参加した日も、地元だけでなく栃木県内や首都圏から300人近く集まり、約2時間で3トン以上のオオハンゴンソウを駆除した。

しかしながら、駆除を行ったのは日光のごく一部の区域であり、沿道ではあちこちで旺盛に黄色い花が目につき、ここまで広がってしまうと「もう手遅れ」という印象を受けてしまった。そして箱根では、日光のように広がってしまわないように頑張りたいと思うとともに、「まだ間に合う」という印象を強く持った。

外来生物の駆除は長いスパンで取り組んでいかなければならない課題である。箱根出張所では引き続き、ボランティアや関係機関の皆様と協力しながら、オオハンゴンソウの調査及び駆除活動を継続していきたいと考えている。

謝辞

調査や駆除活動に協力していただいたボランティアや関係機関の皆様には厚くお礼申し上げます。

参考文献、資料：

環境省ホームページ 特定外来生物等の一覧

<http://www.env.go.jp/nature/intro/9list.html>

神奈川県植物誌調査会(1988)神奈川県植物誌1988
P1214

神奈川県植物誌調査会(2001)神奈川県植物誌2001
P1418

オオハンゴンソウ分布確認箇所図、確認地カルテの位置図は、Yahoo!地図情報の地図データを加工して使用した <http://map.yahoo.co.jp/>

小田原市郷土文化館研究報告No.14(自然科学No.7)
小田原市郷土文化館1978

野山のたより総集号 箱根町教育委員会(1987)

表1 2007年オオハングソウ確認地一覧及び駆除数

通し 番号	整理番号	場 所	位 置	自然公園法 の用途地域	標 高	土地所有者・管理者	2006年 駆除株数	2007年 駆除株数
1	A-1 (2006-2007)	箱根湯坂路沿い	箱根町 小涌谷	第2種 特別地域	約760m	自然環境保全 センター	16,500	3,740
2	A-2 (2006-2007)	駒ヶ岳山頂	箱根町 元箱根	第2種 特別地域	約1,325m	林野庁東京神奈川 森林管理署	0 (種子のみ)	20,340
3	B-1 (2006-2007)	仙石原温泉内	仙石原大原	特別 保護地区	約655m	自然環境保全 センター	3,793	490
4	B-2 (2006-2007)	湖尻集団施設地区 ローウェイ付近	箱根町元箱根 旧札場	第2種 特別地域	約760~ 780m	自然環境保全 センター	1,882	0
5	B-3 (2006-2007)	大芝別荘地の上	箱根町 元箱根大芝	第2種 特別地域	約920m	民有地	0	270
6	C-1 (2006-2007)	明神林道沿い	箱根町 仙石原	第2種 特別地域	約800m	西湘地域県政総合 センター	0	600
7	C-2 (2006-2007)	明神林入口付近、 沢の土手	箱根町 仙石原	第2種 特別地域	約700m	民有地	0	1,630
8	C-3 (2006-2007)	湖尻仙石原 自然探勝歩道沿い	箱根町 仙石原	第2種 特別地域	約730m	自然環境保全 センター	108	0
9	C-4 (2006-2007)	湖尻集団施設地区 環境省付近	箱根町元箱根 旧札場	第2種 特別地域	約770m	自然環境保全 センター	100	55
10	C-5 (2006-2007)	箱根町環境センター先 林道沿い	箱根町 畑宿	第2種 特別地域	約750m	自然環境保全 センター	0	890
11	C-6 (2006-2007)	精進池石仏・石塔群 記念館付近	箱根町 元箱根	第1種・ 第2種	約860m	箱根町、民有地	0	120
12	C-7 (2006-2007)	県道75号線大芝 第一ポンプ場付近	箱根町 元箱根大芝	第2種 特別地域	約800m	民有地	0	850
13	C-8 (2006-2007)	旧道「箱根の森」 入口付近カーブ内側	箱根町 元箱根	第2種 特別地域	約780m	箱根町または 民有地	0	900
14	C-9 (2006-2007)	箱根町園地内	箱根町 箱根	第2種 特別地域	約730m	自然環境保全 センター	580	252
15	C-10 (2006-2007)	箱根森林事務所先 道路沿い	箱根町箱根字 芦川町	第2種 特別地域	約730m	箱根町、民有地	0	508
16	【新規】C-11 (2007-)	湯坂路産ノ巣山付近	箱根町小涌谷 上産ノ巣	第2種 特別地域	約820m	自然環境保全 センター	—	800
17	【新規】C-12 (2007-)	大芝別荘地道路沿い	箱根町 元箱根大芝	第2種 特別地域	約880m	箱根町、民有地	—	208
18	【新規】C-13 (2007-)	湖尻ペンション敷地及 び県道沿い	箱根町元箱根 旧札場	第2種 特別地域	約740m	民有地、 小田原土木事務所	—	0
19	【新規】C-14 (2007-)	仙石原穂し乃庵横	箱根町 仙石原大原	特別 保護地区	約660m	民有地	—	0
20	D-1 (2006-2007)	明神林道沿い	箱根町 仙石原	第2種 特別地域	約710m	民有地	0	10
21	D-2 (2006-2007)	湖尻蕎麦屋前	箱根町元箱根 旧札場	第2種 特別地域	約735m	民有地	0	0
22	D-3 (2006-2007)	湖尻「ホテル箱根 アカデミー」付近	箱根町元箱根 旧札場	第2種 特別地域	約740m	民有地	0	0
23	D-4 (2006-2007)	箱根湯の花高原 別荘地内	箱根町 芦之湯	第2種 特別地域	約860m	民有地	0	40
24	D-5 (2006-2007)	大芝別荘地の上	箱根町 元箱根大芝	第2種 特別地域	約910m	民有地	0	98
25	D-6 (2006-2007)	大芝別荘地の 入口付近	箱根町 元箱根大芝	第2種 特別地域	約865m	民有地	0	101
26	D-7 (2006-2007)	大芝別荘地 町道沿い	箱根町 元箱根大芝	第2種 特別地域	約870m	民有地	0	0
27	D-8 (2006-2007)	大芝別荘地 町道沿い	箱根町 元箱根大芝	第2種 特別地域	約840m	民有地	0	0
28	D-9 (2006-2007)	お玉ヶ池周辺	箱根町 元箱根	第2種 特別地域	約770m	箱根町	1	0
29	D-10 (2006-2007)	県立恩賜 箱根公園内	箱根町 元箱根	自然公園 区域外	約740m	小田原土木事務所 ・県公園協会	0	0
30	【新規】D-11 (2007-)	国道1号線沿い の空き地	箱根町小涌谷 蛇骨野	普通地域	約500m	民有地	—	0
31	【新規】D-12 (2007-)	国道1号線沿い 小涌谷～恵明学園間	箱根町小涌谷	第2種 特別地域	約630m	民有地	—	0
32	【新規】D-13 (2007-)	富士屋仙石 ゴルフ場脇	箱根町仙石原 温泉	第2種 特別地域	約670m	民有地	—	68
33	【新規】D-14 (2007-)	大芝別荘地 新築ガレージ横	箱根町 元箱根大芝	第2種 特別地域	約860m	民有地	—	0
34	【新規】D-15 (2007-)	明神林道沿い	箱根町 仙石原	第2種 特別地域	約730~ 800m	西湘地域県政総合 センター	—	41
35	【新規】D-16 (2007-)	県道733号沿い 下湯場付近	箱根町仙石原 下湯場	第2種 特別地域	約690m	民有地	—	1
36	【新規】D-17 (2007-)	仙石原高原別荘地	箱根町仙石原 高原	第2種 特別地域	約680m	民有地	—	0
37	【新規】D-18 (2007-)	宮城野林道入口	箱根町宮城野	第2種 特別地域	約670m	自然環境保全 センター	—	0
38	【新規】D-19 (2007-)	強羅早雲山駅 入口付近	箱根町強羅 早雲山	第2種 特別地域	約760m	民有地	—	0
39	【新規】D-20 (2007-)	強羅早雲山駅 大雄山別院入口	箱根町強羅 早雲山	第2種 特別地域	約760m	民有地	—	0
		駆除株数合計					22,964	32,012

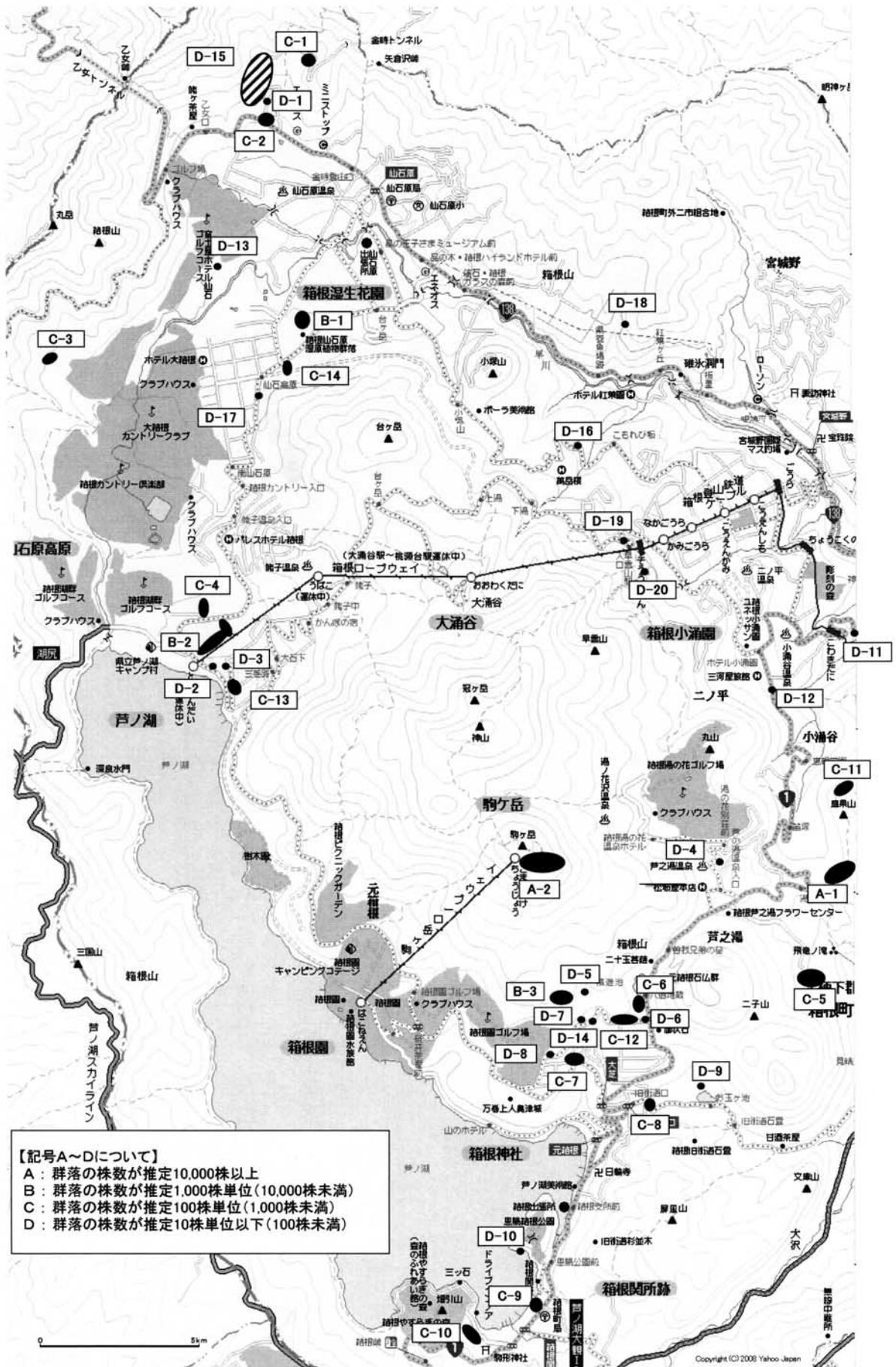


図1 2006年-2007年オオハンゴンソウ分布確認地点図

表2 防除実施計画書

①実施団体	神奈川県自然環境保全センター
②防除対象生物	オオハングソウ
③防除を行う区域	神奈川県箱根町全域
④防除を行う期間	平成19年(2007年)6月29日～平成22年(2010年)3月31日(3年)
⑤防除の目標	区域からの排除、または拡大の低減化
⑥防除の方法	<p>(1)調査 2006年度に分布地や個体数を調査した結果、25箇所を確認。当該知見に基づき当面下記の方法で防除をすすめるとともに、継続して分布地の調査をすすめる。</p> <p>(2)駆除方法及び処分 職員及びボランティアによる人力引き抜き後、箱根町環境センターにて焼却処分を行う。即日の処分が不可能な場合は乾燥による減量化を行う。また、開花後の種子がついている場合は2次囲い等により種子の飛散を防止する措置を取る。 蓄積された外来種シードバンクがある箇所については、専門家のアドバイスを踏まえながら方法を検討していく。</p> <p>(3)モニタリング 駆除した株数と重量を計測し、定量的な把握を行うとともに、中長期的な分布範囲の変化を追跡していく。</p>
⑦合意形成の経緯	<p>(1)箱根地区公園連絡会議での調整(環境省箱根自然環境事務所、箱根町) ・平成17年8月24日 外来生物法と箱根の特定外来生物種について意見交換、環境省箱根自然環境事務所による駆除の対応について県自然環境保全センターが要請。 ・平成18年9月26日 県自然環境保全センターより国、県、町による協力体制づくりを呼びかけ、了解を得る。 ・平成18年10月27日 県自然環境保全センターが箱根地区公園連絡会議の中にオオハングソウ対策部会を設置することを提案、継続審議となる。 ・平成19年3月12日 県自然環境保全センター提案のオオハングソウ対策部会の設置方針は撤回、県自然環境保全センターと箱根町がそれぞれ外来生物法の防除の確認申請をした上で、国、県、町により協力してオオハングソウの駆除をすすめていく方針で合意。</p> <p>(2)オオハングソウに関する情報交換会の開催 ・平成19年1月31日、神奈川県立生命の星・地球博物館にて県自然環境保全センターがオオハングソウに関する情報交換会を開催し、防除への合意形成に努めた。</p>
⑧関係者との調整の経緯	<p>(1)環境省 ・平成18年6月14日「特定外来生物の防除の確認申請書」にて仙石原湿原内(自然公園法特別保護地区)の県有地の防除計画書を提出 →平成18年7月6日環関地野許第060705002号にて確認</p> <p>(2)林野庁 ・駒ヶ岳国有林の山頂部におけるオオハングソウの駆除について、協力要請(平成19年2月20日)</p> <p>(3)民有地の地権者 ・所有者が把握できた場合は、事前に協力を求める。</p>
⑨普及啓発	・オオハングソウについて箱根町の広報や関係機関のホームページに掲載を依頼する予定。また、箱根ビジターセンターにて普及啓発の予定。

表3 2007年(平成19年)オオハンゴンソウの駆除活動記録

番号	日時	場所	位置	番号	内容	駆除株数	摘要
1	5月8日(火)	大芝別荘地最上段	箱根町元箱根大芝	B-3	生育状況の確認、駆除	20	手前のみ駆除。全部で推定500~800株。
2	"	大芝別荘地配水池入口	箱根町元箱根大芝	D-5	"	80	目についたものは全て駆除した。
3	"	大芝別荘地入口	箱根町元箱根大芝	D-6	"	85	民家の入口にあと20株くらいある。
4	"	湯坂路沿い	箱根町小満谷上鷹ノ巣	A-1	"	40	推定1万株以上、昨年同様、駆除の必要あり。
5	"	箱根町環境センター奥	箱根町畑宿二会平	C-5	"	30	全部で300~500株くらいありそう。手前の方にも10株ほど生えてる場所を確認。
6	"	仙石原湿原内	箱根町仙石原大原	B-1	"	490	H=0.3m前後。重量1470g
7	5月14日(月)	箱根町園地内	箱根町箱根	C-9	生育状況の確認、駆除	82	82株駆除したが推定300株。昔からあるとお店の方に言われる。
8	"	芦川町空き地	箱根町箱根芦川町	C-10	"	38	湿地のため抜きづらい。推定300株。
9	5月31日(木)	湖尻集団施設地区環境省付近	箱根町元箱根旧札場	C-4	生育状況の確認、駆除	55	昼休みに現場を確認して駆除。
10	6月1日(金)	駒ヶ岳山頂	箱根町元箱根	A-2	第1回オオハンゴンソウ駆除隊	6,000	15人参加。根株のみ30袋をロープウェイで降ろす。
11	6月21日(木)	大芝別荘地最上段	箱根町元箱根大芝	B-3	生育状況の確認、駆除	250	H=1.2mくらいに成長、道路沿いを抜き取り。奥の方は手つかず。
12	"	大芝別荘地配水池入口	箱根町元箱根大芝	D-5	"	18	5月8日に大部分を駆除したのでほとんどなく、取り残しを駆除。
13	"	大芝別荘地内	箱根町元箱根大芝	【新規】C-12	"	128	【新規】2007-C-12 大芝別荘地内を追加。道路沿いに点々とあり、気がついたのは全て駆除。
14	"	大芝別荘地入口	箱根町元箱根大芝	D-6	"	16	5月8日に抜き取った残り。民家の前、10本ほど育っている。
15	6月27日(水)	箱根町環境センター奥	箱根町畑宿二会平	C-5	第2回オオハンゴンソウ駆除隊	630	13人参加。目に付いたものはほとんど駆除
16	"	旧道お玉池カーブ内側	箱根町元箱根	C-8	"	900	かなり大変。午前と午後にもたがり、ほとんど駆除。
17	"	箱根町園地内	箱根町箱根	C-9	"	170	イタドリに覆われている。ほとんど駆除。
18	"	芦川町空き地	箱根町箱根芦川町	C-10	"	470	湿地で根株が大きくて駆除は大変だった。
19	7月21日(土)	湯の花高原別荘地	箱根町声之湯	D-4	生育状況の確認、駆除	40	草刈り後の葉だけだったが、根こそぎ全部駆除。
20	7月23日(月)	駒ヶ岳山頂	箱根町元箱根	A-2	生息状況調査、駆除	40	2箇所のコドラート調査と、平均高さの測定
21	7月25日(水)	駒ヶ岳山頂	箱根町元箱根	A-2	第4回オオハンゴンソウ駆除隊	5,300	24人参加。森林管理署の協力でかなり進む。駆除数は概数。
22	8月8日(水)	湯坂路沿い	箱根町小満谷上鷹ノ巣	A-1	第5回オオハンゴンソウ駆除隊	3,700	14人参加。昨年は2回駆除して16500株取ったので、約4分の1に減少したことになる。
23	"	鷹ノ巣山付近	箱根町小満谷上鷹ノ巣	【新規】C-11	"	800	【新規】2007-C-11 鷹ノ巣山付近追加。200~300株と違ってたら、800株もあった。ほぼ取り尽くした。
24	"	箱根町環境センター奥	箱根町畑宿二会平	C-5	"	60	お昼にトイレに行った帰りに立ち寄り、花が咲いてるのを確認。5分ほど駆除。林の中に花が目立つ。
25	8月10日(金)	富士屋山ゴルフ場横	箱根町仙石原温湯	【新規】D-13	生育状況の確認、駆除	68	【新規】2007-D-13 仙石原ゴルフ場横を追加。パトロール時に発見し駆除。
26	8月14日(火)	大芝別荘地内	箱根町元箱根大芝	【新規】C-12	生育状況の確認、駆除	80	移動途中に発見し駆除。
27	"	精進池石仏記念館周辺	箱根町元箱根堤灯山	C-6	"	120	道路の奥の方から駆除するが少ない。駐車場側は大沢氏が調査中だったので手をつけず。
28	"	箱根町環境センター奥	箱根町畑宿二会平	C-5	"	170	8日に出来なかった斜面地や奥地の株を除去。花が目につくものは全て駆除したが、まだ少し残る。
29	8月15日(水)	明神林道沿い	箱根町仙石原金時山	【新規】D-15	生育状況の確認、駆除	1	【新規】2007-D-15 明神林道沿いを追加。群落でなくぼつぼつ生えている。1株のみ駆除。
30	"	県道733号沿い下湯場付近	箱根町仙石原下湯場	【新規】D-16	"	1	【新規】2007-D-16 県道733号沿い下湯場付近を追加。1株のみ見つけ、それを駆除。
31	8月22日(水)	明神林道の沢沿い	箱根町仙石原金時山	C-1	第6回オオハンゴンソウ駆除隊	600	15人参加。30分くらいで600株を駆除。
32	"	明神林道沿い	箱根町仙石原金時山	D-1	"	10	15人のうち、4人で歩きながら目に付いた株を駆除。
33	"	明神林道沿い	箱根町仙石原金時山	【新規】D-15	"	40	15人のうち、4人で歩きながら目に付いた株を駆除。
34	"	明神林道入口付近	箱根町仙石原菅原	C-2	"	1,630	小さいものも含めて1630株。昨年の推定株数は200株としていて、全く違っていた。
35	9月14日(金)	県道75号大芝ポンプ場付近	箱根町元箱根大芝	C-7	第7回オオハンゴンソウ駆除隊	850	3人参加。花の時期がすぎ、種をつけ始めた株を駆除。鍵のあるポンプ場の中は手つかずのまま残る。
36	9月26日(水)	駒ヶ岳山頂	箱根町元箱根	A-2	第8回オオハンゴンソウ駆除隊	9,000	19人参加。花がらのつみ取りと根茎部の抜き取り作業。
		駆除株数合計				32,012	※ 平成19年度は約3万2千株を駆除した。

箱根駒ヶ岳オオハンゴンソウ駆除活動

平成 19年 7月 25日 (水)
第4回オオハンゴンソウ駆除隊
神奈川県自然環境保全センター

◇◇◇ スケジュール ◇◇◇

10:00 箱根出張所集合
・あいさつ、自己紹介、トイレ準備など

10:10 事務所出発
・公用車に乗り切れない場合は、個人車に分乗。

10:30 東京神奈川森林管理署と合流後、箱根園。

10:45 駒ヶ岳ロープウェイにて山頂へ。

11:20~ 駆除作業開始
・始める前に機材をもらい、作業手順を説明。

12:20頃 昼休み(40分)

13:00 作業再開
・全体の進捗具合や参加者の様子を見て、13:50頃から片付けに入る。
・駆除したものは袋づめにし、ロープウェイにて降ろす。

14:00頃 作業終了、撤収(希望者は現地解散)

14:45 箱根園にて東京神奈川森林管理署へ解散

15:00 箱根出張所にて全員解散

◇◇◇ 今回の作業内容 ◇◇◇

- 地上部とともに根茎を根こそぎ取り取ります。
- 掘り取った株は最後に100本づつ束にして株数を数えます。
- 剪定機で地上部と根茎部を切断し、根茎部のみ、袋に詰めてロープウェイで降ろします。(ロープウェイで降ろす量を減らすため)
- 地上部は掘り取った場所に置いておきます。根茎部は箱根町環境センターにて焼却処分します。

◇◇◇ 注意事項 ◇◇◇

- ・2箇所、4m×4mの方形区で調査を行いますので、その部分は手をつけないようお願いいたします。
- ・怪我のないよう、気を付けて行いましょう。



オオハンゴンソウ *Budelia javanica* (他名: オオハンゴンソウ)

本種は多年生草で、種子による繁殖のほか、根茎から不定根を出して繁殖します。根茎が中絶し腐敗して土壌から露出し、地上部から生え直ります。また、中絶した根茎も、土壌から不定根を出して、根茎が腐敗するより早く繁殖を繰り返すため、駆除に当たります。

1月下旬から3月中旬にかけて、葉色と葉から花をつけ、よく見えます。

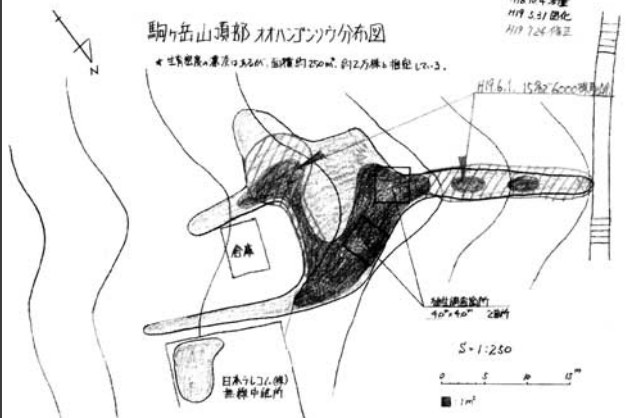
葉は100~200枚ほどつきます。1株で約200~300枚くらいになります。

生育中葉面についている油状分泌物が多く、葉の裏面は黒い。葉の裏面は黒い。葉の裏面は黒い。

根茎を数珠でも、折れては種子を生やすので、根茎は必ずしも折る必要はありません。

駒ヶ岳山頂部 オオハンゴンソウ分布図

※ 根茎長さ・葉の長さがあるが、面積約20㎡、約2万株は推定して-3。



11月10日 測量
11月15日 図化
11月24日 修正

11月6日、15日、20日 測量

地味調査区画
40m×40m 2箇所

日入(12:00) 無標中絶区

S=1:250

0 5 10 15 m

■ 1㎡

第4回オオハンゴンソウ駆除隊の結果報告書

自然環境保全センター箱根出張所

日 時：平成 19年 7月 25日 (水) 10:00~15:00

駆除場所：箱根駒ヶ岳山頂

参加者：自然公園指導員8名(宮崎氏、釘宮氏、山口氏、島村氏、鈴木さん、添田氏、五十嵐氏、浦野氏)、環境省7th Jリーグ1名(松沢氏)、箱根町3名(環境課：増田氏、小野氏、観光課：高橋氏)、東京神奈川森林管理署8名(片岡所長、大黒氏、須崎氏ほか)、県緑政課2名(松田課長、鈴木主査)、自然環境保全センター2名(露木出張所長、辻本) 合計24名

配布資料：別紙のとおり

作業内容：スコップや鎌などで、根こそぎ掘り取る。取った株は根茎部のみを約150株ずつにまとめ、山から降ろす。駆除したものは箱根町環境センターに運搬し、焼却処分。

作業実績：約5300株、重さ250kg(根茎部のみ)


当日の状況写真



10時40分発のロープウェイで山頂へ向かう。



前回6月1日に駆除した場所を説明。



駒ヶ岳山頂の繁殖状況、管の中に侵入中。



120cm~160cm 程度に生育し、花はもうすぐ。




廃止されたテープ跡付近の生育状況。



11時から駆除活動スタート。



駆除作業状況



掘った根茎部は袋に入れていく。




午前中1時間、午後1時間の作業。



地上部はその場に放置し、堆肥化。



14時30発の臨時便を出してもらった。



約5300株、250kgを駆除することができた。

図2 オオハンゴンソウ駆除隊の実施例(配布資料・結果報告書)